



## よりよい学校づくりを目指して

教務主任 大谷 稔人

1学期末に子供たちや保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート「よりよい学校づくりを目指して」の集計結果をお知らせします。

### 思いやりの心もち、自ら考え、挑戦する子供の育成

#### 学び合う子

自分の考えをもち、学び合う

項目	子	親
話を最後まで聞く	90	95
自分の考えをもち、発表する	74	90
自主学习	83	74
読書	86	63

※網掛け…80%未満

#### やさしい子

思いやりの心をもち、  
自他を大切にする

項目	子	親
学校は楽しい	92	91
進んで挨拶や返事	90	79
思いやり	97	94
ルールを守る	95	94
悩み事を相談できる	91	
自分のことが好き	78	

#### つよい子

進んで健康づくりに取り組む

項目	子	親
早寝	75	70
早起き	81	75
朝食	84	92
歯磨き	87	89
運動	83	78
メディアの時間	81	62

「そう思う…A」 「だいたいそう思う…B」 「あまり思わない…C」 「まったく思わない…D」  
の4段階で答えていただきました。数値は、A+Bの割合(%)です。

#### 「自分の考えをもち、発表する」

授業中に自信をもって自分の考えを発表できるように、「考えを練る・書く」時間の充実に努めます。また、子供が考える過程を大切に、認めていくことで「考えをもつこと」につながるよう支援していきます。

#### 「進んで挨拶や返事」

「進んで挨拶や返事」の評価が子供と保護者で差があります。「目をつないで」と「自分から進んで」挨拶をすることが大切です。児童会の「あいさつ運動」を中心に、子供たちの中からの呼び掛けが広がってほしいと願っています。同時に、大人からも子供たちの手本となるような「進んで大きな声」で挨拶していきたいと思えます。

#### 「自分のことが好き」

一人一人のよさを認め、やる気につながる称賛や励ましを大切にして、自己肯定感を高めていきます。また、一人一人が自分のよさに気づき、子供同士が認め合う活動を充実していきたいと思えます。

#### 「早寝」「早起き」「メディアの時間」「運動」

「早寝」「早起き」「メディアの時間」の評価が、昨年に引き続き低い傾向にあります。学校では、子供が「メディアの時間」を自己調整できるようになってほしいと考え「ウィズメディア87運動」の取組を行っています。子供が自分の意思でメディア使用の時間をコントロールできれば、早寝早起き等の生活習慣の改善につながります。子供がメディアと上手に付き合っていけるように、学校と家庭の双方で子供の様子を見守る必要があります。ご協力をお願いします。

「運動」に関しては、様々な感染症の流行に対応しながら、子供たちの体力づくりに向けて取り組んでいきます。